



2024年5月7日

各位

会社名：株式会社 SDS ホールディングス
代表者名：代表取締役社長 渡辺 悠介
(コード番号：1711 東証スタンダード)
問い合わせ先：管理本部長 田中 圭
(Tel:03-6821-0004)

業績予想の修正及び、特別損失計上見込みに関するお知らせ

当社は、2023年5月15日に公表した2024年3月期の通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。また、2024年3月期第4四半期決算におきまして、特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,450	百万円 10	百万円 △60	百万円 △120	百万円 △13.74
今回修正予想 (B)	4,135	25	△51	△106	△10.72
増減額 (B-A)	685	15	8	14	
増減率 (%)	19.9	156.6	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	3,402	△155	△210	△296	△34.60

2. 修正の理由

2024年3月期通期連結業績において、売上高は、顧客企業のSDGsへの意識の高まり等から、省エネ効果を取り入れた施設改築等の需要が、期末にかけて想定以上に拡大したこと、リノベーション事業においても、第4四半期に入っても、需要が高止まりしたことで、従来予想を6億85百万円、上回る見込みとなりました。

また、営業利益、及び経常利益については、原材料費、人件費の増加などのコスト増加要因があったものの、売上高の増加と、経営資源の集中による販管費削減により、従来予想に対し、営業利益では15百万円の超過、経常損失は8百万円、減少する見通しとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損失35百万円が発生する見込みとなりましたが、経常利益が予想を上回ったことと、昨年8月31日に公表しました特別利益があったことなどから、従来業績予想に対し、損失は14百万円減少する見通しとなりました。

3. 特別損失の発生

本日開催の取締役会において、以前より行っていた省エネルギー関連事業での施設工事での導入設備が当初想定していた効果が得られないものとなったため、この事業を協議の上精算し、事業撤退損として特別



損失 35 百万円を計上することを決議しましたので、これを計上いたします。

なお、上記の業績予想数値は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

以 上